

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和8年度 第1回 加須市下水道事業審議会
開催日時	令和8年8月6日（木） 午後1時30分から午後2時30分まで
開催場所	加須市環境浄化センター 2階 会議室
議長氏名	齊藤善孝会長
出席委員	齊藤善孝会長、花井毅会長代理 齋藤敏明委員、永田庄治委員、榎本彰委員、町田朗委員、 梅田正義委員、輿石康男委員、石川重郎委員、川畑久子委員、 鈴木君恵委員
欠席委員	竹村弘委員、正能修一委員、大内紀美子委員、藤井浩司委員
会議次第	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 市長あいさつ 4 会長及び会長代理の選出 5 議 事 (1) 第3次加須市公共下水道事業中期経営計画の進捗状況につ いて (2) 川口地区の公共下水道整備事業について 6 その他 【大利根地域】マンホールカードの作成・配布について 7 閉 会
会議資料の名称	資料1 第3次加須市公共下水道事業中期経営計画の進捗状況につ いて 資料2 川口地区の公共下水道整備事業について
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴者の数	0
説明者の職・氏名	下水道課長 松本和昭
事務局職員職・氏 名	上下水道部長 柿沼 順、下水道課長 松本和昭 同課主幹 石井光晴、同課主幹 島田一博、同課主幹 江原義和 同課主査 渡辺敏充
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録

その他必要な事項	なし
----------	----

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
事務局（江原主幹）	開会
【委嘱状の交付】	
高橋市長	委嘱状の交付
【市長あいさつ】	
高橋市長	市長あいさつ
【会長の選出】	
仮議長（高橋市長）	委員の互選により、齊藤善孝委員が会長に就任
【会長あいさつ】	
齊藤会長	会長あいさつ
【会長代理の指名】	
齊藤会長	齊藤会長の指名により、花井毅委員が会長代理に就任
【会長代理あいさつ】	
花井会長代理	会長代理あいさつ
【議事】（1）第3次加須市公共下水道事業中期経営計画の進捗状況について	
事務局	事務局（松本課長）より説明
【議事】（2）川口地区の下水道整備について	
事務局	事務局（松本課長）より説明
【質疑・意見】	
齊藤会長（議長）	ただいま事務局より議事資料についての説明がありましたが、ご質問やご意見をいただきたいと思います。
石川委員	生活環境がより快適になるためには、自治会としては水洗化率の向上が必須であると考えているが、水洗化率を向上させるために市として具体的にどういった取組を行っているのか。
事務局（松本課長）	水洗化率を向上させるために、戸別訪問を実施しています。 川口地区の整備が完了したことから、川口地区を重点的に普及啓発のチラシを投函しています。具体的には、場当たりに実施するのではなく、今年から接続申請があったエリアをターゲティングしながら工夫して実施しています。
石川委員	全体的水洗化率が83%という中、私の堀北2区でも十数年前に下水道を整備したが、未だ近所で接続していない住宅があるので、さらに積極的に水洗化率を上げる取組を行っていただきたい。
事務局（江原主幹）	気温が上がってくる梅雨の時期などに、下水道へ未接続の方に対する市民の方からの苦情を受け付けます。

	しかしながら、接続に対し法的強制力がないため、市としてはどうしても接続のお願いになってしまいます。そのため、例えばそのエリアでミニ集会を開催し、下水道課も一緒にミニ集会に参加して、そこで地域の皆さんと一緒にあって未接続の方へ接続を促すことが効果的と考えています。 引き続き、市民の皆さんと一緒にあって、普及啓発に努めていきたいと考えています。
石川委員	加須市でも下水道を整備してからかなり時間が経過し、老朽化している施設や管渠があると思うが、八潮の事故をうけて加須市でも調査をしたと思うが、緊急に修繕や更新をしなければならない管渠はどのくらいあったのか。
事務局(松本課長)	八潮の事故をうけて加須市でも調査を実施しました。加須市の管渠の大きさは八潮の県が管理している流域の管渠と比べて小さいです。点検の結果としては、異状はありませんでした。 現在、老朽化対策として下水道施設のストックマネジメント計画の策定に着手しています。この計画により修繕や更新が必要な下水道施設を洗い出し、予算を考慮しながら事故を未然に防ぐ対策を取っていききたいと考えています。
事務局(島田主幹)	2年前の八潮の事故を受け、国から通達があり県下一斉に緊急点検を実施しました。加須市では基幹管路について職員が直接マンホールの蓋を開けて土砂の流入があるか目視で点検を実施しました。その結果としては、土砂の流入は確認できませんでしたので、管渠に破損はなく、今のところ陥没の恐れはございません。 今後は、今ある下水道施設を長期的に安全に使用していけるように下水道ストックマネジメント計画を策定します。この計画を策定すると国から交付金が交付されることから、交付金を活用しながら施設を修繕・更新していきたいと考えています。
齊藤会長(議長)	資料2ページに下水道の整備率が98.4%とあるが、残りの1.6%はどこか。
事務局(松本課長)	例えば、利根川の堤防沿いです。あそこは以前、認可区域に入っていたが、堤防ができてしまったため工事ができない状況です。 川口地区の整備が完了したので認可をいただいているエリアは100%整備が完了しています。
石川委員	野中地区については、将来的に下水道を整備するのか。
事務局(松本課長)	私の立場では整備する又はしないと答えられません。 しかしながら、野中地区は市街化区域なので、下水道を整備する対象のエリアであるとは思っています。

	川口地区においても市街化区域になってから約30年後に下水道を整備しているので、適切な時期に必要な議論がされるべきであると考えています。
【その他】(大利根地域) マンホールカードの作成・配布について	
事務局	事務局(松本課長)より説明
【質疑・意見】	
石川委員	配布状況を教えていただきたい。
事務局(松本課長)	6,000枚作成し、7/31の配布初日には1,575名の方にお越しいただきました。北は北海道から南は福岡まで全国からお越しいただきます。 昨日の8/5時点で、既に3,300枚を超える枚数を配布しています。
齊藤会長(議長)	カードだけを配布しているのか。
事務局(松本課長)	初日の7/31は、物産観光協会がカードの配布場所で、マンホールのキーホルダーなどのグッズを販売しました。 また、このマンホールグッズは道の駅でも販売しているため、道の駅の案内を行いながらカードを配布しました。
【事務連絡】	
事務局(松本課長)	川口地区に係る受益者負担金の関係を議題とするこの審議会を、11月上旬頃に開催させていただきたいと考えています。 日程が固まりましたら改めて、委員の皆様へ文書で連絡させていただきますので、その際はどうぞよろしくお願いします。
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和8年8月20日 署名 <u>齊藤善孝</u>	